

情報理工学実験 II
データベースと WEB サービス構築
フレームワークなしの Web サーバプログラミング
基本課題 2-5

Klak Bartosz
クラク バルトツシュ
学生番号 02166102

2018 年 10 月 25 日

1 基本課題 2-5

XSS - cross site scripting: XSS では攻撃する側は、Client 側のスクリプトを Website に入力する。それによって、User の Cookie が盗まれたら、その User のアカウントをハイジャックできる。その問題の対策の一つとして、SameSite cookie parameter という技術がある。それは、Cookie が SameSite=Strict というパラメータをもち、Cross のリクエストを防ぐ。

CSRF - cross site request forgeries: CSRF は、Web が知っているユーザーから無用なコマンドを送信する Website である。その対策として STP という技術などが存在する。STP(Synchronizer Token Pattern) は Token、つまり秘密でユニークに作成された値が Server 側にチェックされている。

Cross site cooking は攻撃の側は Browser の Cookie を別の Server の Cookie Domain に入力するという攻撃である。

ソース :

https://en.wikipedia.org/wiki/Cross-site_request_forgery

https://en.wikipedia.org/wiki/Cross-site_scripting

https://en.wikipedia.org/wiki/Cross-site_cooking